

WALKING MAP

～ふれあいのみち～

海風を受けながら

伊予の自然と歴史に触れる

11～14kmコース

自然を感じるウォーキングコース



休暇村瀬戸内東予

愛媛県西条市河原津

TEL 0898-48-0311

⑨ 伊予桜井漆器会館

左手に伊予桜井漆器会館が見えます。伝統工芸の誇り、200年の歴史が息づく桜井漆器の出来上がるまでの工程を自由にご覧いただけます。10分ほど進むと右手に湯ノ浦温泉「道の駅」が見えます。その先は「孫兵衛作」の家並みになります。孫兵衛作とは、江戸時代に土地を開拓した人物の名前からついた地名です。

⑩ 医王池（蛇越池）



8月上旬～9月中旬になると、医王池（蛇越池）ではサギソウが咲き乱れます。純白の輝いた花が咲き乱れる姿と、シラサギが翼を広げた姿に似ているところからこの名前がつけられました。この池では、ほかにもたくさんの湿地植物が自生しています。湿地を抜けると休暇村に着きます。



～ウォーキングについて～

- ウォーキングはひとそれぞれのペースで楽しむことが大切です。
- スニーカーやウォーキングシューズなどの歩きやすい靴を着用しましょう。
- ウォーキングによって生じる疲労を回復するためには、休息をたっぷりとることが大切です。
- こまめに水分補給を行いましょう。

⑥ 御台場跡

200mほど進むと右手に御台場跡があります。これは、幕末の黒船来襲に備えて作った松山藩の台場跡です。そこからさらに進むと、鳥居が見えてきます。鳥居をくぐると次の目的地です。

⑦ 網敷天満神社

網敷天満神社に着きます。祭神は菅原道真公で、江戸時代に古国文の古天神から分離独立したと伝えられています。網敷天満神社のお参りをすませ鳥居を抜けると、桜井郵便局が見えます。郵便局の前に細い道があるので、そこを左に曲がります。そのまま進むと、以前通った小さな橋のある桜井河口港に出ます。橋を渡り、左に曲がって進むと、また小さな橋があるので、橋を渡らず手前を右に曲がります。



⑧ 桜井漆器の里



桜井漆器の里の町並みには、いたる所に連子窓の家屋が見られます。



帰りは、桜井漆器の町並みから網敷天満神社に戻り、11kmコースと同じ道のりで休暇村へ戻ります。

① 永納山城跡

休暇村の本館から遊歩道を通して東屋に行く途中に、永納山城跡が見えます。この城跡は日本で最も古い城に分けられる古代山城の一つで、愛媛県内で確認されている3ヶ所のうちの1つでもあります。古代城は飛鳥時代～奈良時代に築かれたもので、みなさまがイメージされている天守閣や高い石垣などとは全く異なった姿を見せています。

② 大岩大明神と龍神社

より奥に進むと不思議な場所にたどり着きます。こちらは大岩大明神と龍神社とよばれる、神秘的な場所です。大岩大明神は、商売繁盛に霊験あらたかと言われ、桜井海岸の漁業繁盛を祈るために、大きな岩でズッシリと見守っています。これとは逆に、龍神社は、大岩大明神の岩が砕けた部分にひっそりと、海の安全を守るために祭られています。



③ 釣り

それから浜辺に向かって下りて行くと、四季に関わらず暖かいこともあり、一年を通して地域の人達が浜辺でキス・カレイ・チヌの釣りを楽しんでいます。



④ 桜井海岸

桜井海岸は、瀬戸内に残された数少ない白砂青松の自然海辺で「日本の渚・百選」にも選ばれ、夏には海水浴客でにぎわいます。海岸沿いを歩き 300m 進むと、左手に桜井総合公園が見えます。海岸沿いを再び歩いていくと、ふれあいの広場や桜井スポーツランドに出ます。



⑤ 志島ヶ原の梅林

この梅林は、菅原道真公にちなんで植えられました。梅の木が地区の人々によって手入れされ、毎年春には紅梅や白梅が芳ばしい香りを漂わせています。あめ湯のサービスやお茶の会も行われ、多くの人が梅の花を楽しみます。

